

なら生協連 ニュース

No.12
93.10.20

奈良県生活協同組合連合会

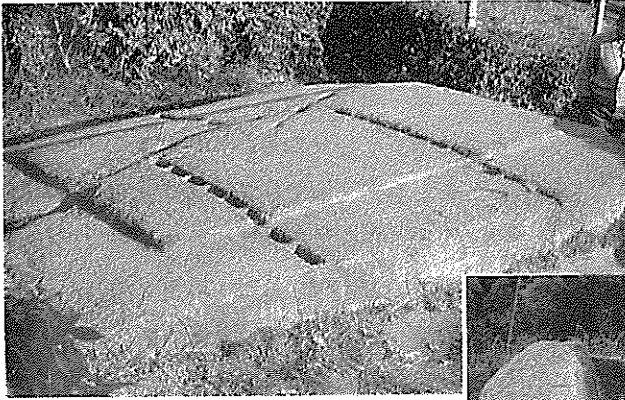
奈良市恋の窪1丁目2-2 ならコープ気付

☎(0742)34-3535

FAX(0742)34-0043

MYSTERY IN ASUKA PART-4

飛鳥には謎にみちた石造物が多い。それらは何かを私たちに語りかけてくる。しかしその意味はわからない。まさにミステリーである。



鬼のまないた



鬼のせっちん

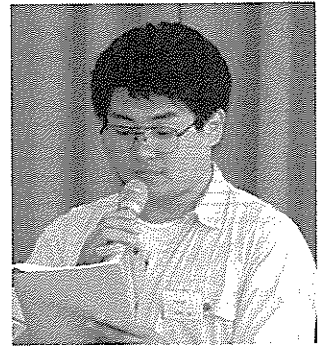


聖徳中学の前の道を左へ少し折れた所に“鬼のまないた” “鬼のせっちん” と呼ばれる巨大な石がころがっている。

むかし、鬼が旅人をつかまえて“まないた”の上で料理し下の“せっちん”で用を足したと伝えられている。

しかしこの石は、欽明天皇陵の陪塚の石槨でもとは道の上にあった一つの石槨が二つに割れて、天井の部分が下の道に転落したのであろうと言われている。

終末期の古墳築造にたずさわった石工の腕の冴がしのばれる見事な石造遺物である。



私の悩みについて



奈良教育大学 3回生 松岡 晶

「日頃考えていること」というお題で何か書いてほしい」と専務さんに頼まれ、軽い気持ちで引き受けてしまったのはいいのですが、私には県連の宴会部長として名高いおやさと生協の某氏のような面白い話は思いつくはずはありません。「これは困った」と考えた結果、私の今一番の悩み事について少し触れてみることにします。

私たちの奈良教育大学は言わずと知れた教員養成大学の1つです。おじぎをして、観光客からせんべい（その他）を強奪する礼儀正しい鹿がうろつく大学の中で、約1300人の学生がそれぞれに日々の精進努力を積み重ねています（何の努力をしているかはご想像にお任せします）。誰がどう見てもものんびりした大学生活に見えるでしょうが、大学生にも関門が幾つも“で～ん”とそびえ立っています。試験やゼミ、卒業論文 etc…人によって関門は様々ですが、教育大学の場合、全ての学生に対して“ででで～ん”と襲いかかってくるのが“教育実習”なる関門です。何せ「行かないことには卒業できない」という特典が付いているので皆、必死にならざるをえません。かく言う私も教育実習に行くことに

なってしまう、「さて、どないしょか？」という具合に悩んではいます（悩んではいませんが、誰に言っても「それならそれで痩せてみせろ！」といった具合に信じてくれない）。

さて、教育実習で一番大変なこと、それは“とにかく睡眠時間が少ないこと”につきまです。実習中は中学生と同じ時間に登校しなくてははいけません。“遅寝遅起”の不規則な生活に慣れきった大学生にとって朝7時前に起きる生活は苦痛です。それなら早く寝ればいいのですが、…眠れないのです。翌日の用意、自分の授業の指導案を考える etc…下宿生であれば炊事洗濯掃除のおまけ付き！と、やる事がてんこもりです。そんなこんなでいろいろやっているうちに夜が明けてしまう。

トホホ…

これはあくまで私の場合です。実際は教科によって差があり、ぐっすり眠れる人達もいます。こればかりは羨んでも仕方のないことで、自分で努力する以外に道はありません。ともかく1カ月間の実習が終わった後で自分が納得できる成果を残せるよう頑張ってみたいと思います。

クープ倶楽部オーストラリア研修報告

奈良女子大学生協・専務理事 小林 利幸

その1

私は、クープ倶楽部（京都・滋賀・奈良の大学生協の取引先の会）主催の海外研修に参加致しました。特に今回はオーストラリアという事で、大いに期待をもって参加致しましたが、期待に違わない研修旅行であったと先ずご報告申し上げます。昨年は、ICA（国際協同組合同盟）の大会が日本で開催され、世界の協同組合に対する関心がひととき高まった年でありましたが、クープ倶楽部はその余韻をもってオーストラリアに臨んだわけがあります。そして今回は、ニューサウスウェールズ州文部大臣バージニア・チャドウィック女史との懇談の時間をとることができ、オーストラリアと日本の関係についてオーストラリアからの視点でお話を聞くことができました。また、丸紅オーストラリア会社の訪問をする機会も得られました。

オーストラリアでの7日間の研修旅行は天候と健康に恵まれ、更にいいメンバーに恵まれ、思い出をよりよいものに演出してくれたことも付け加えなければなりません。

では、いくつかのエピソードを交えながらオーストラリアを皆さんに紹介していきましょう。

9月6日朝、シドニー空港に到着すると気温は11℃と肌寒く、移動用のバスに乗り込むと車内は禁煙。この国では、法律で車内での喫煙と飲食は禁止されており、\$20の罰金が課せられていました。\$1は約70円ですから1400円の罰金ということです。私はタバコをやめてもう5年になりますがヘビースモーカー

の皆さんは、バスを降りる度にスパスパやっておられました。オペラハウスを臨む公園では、メーカー協賛のごみ箱が設置されておりましたので写真を撮ってきましたが、日本でも参考にすべきシステムだと思いました。

この日、チャドウィック文部大臣と名刺交換をさせて頂いたのですが、なんと名刺の裏は日本語で書いてありました。いかに日本人の訪問客が多いかをうかがい知ることができそうな事でした。私たちが大学生協の訪問客であることを意識してか、「今も、私は大学の協同組合のメンバーであり、皆さんとは大変親近感がある」とおっしゃっておられました。たぶんカレッジスターのメンバーであるということだと思います。日本の大学生協のように学内の構成員でなくなれば脱退しなければならないというシステムではないようです。大臣は、日本人にどんどん来てほしいとおっしゃっていましたし、学校では日本語の人気が高く第二外国語の指名が従来はフランス語であったのが今や日本語になっているとのお話でした。外交辞令にしても、やはり対日貿易が黒字であるオーストラリアにとって日本及び日本人は大切なお客様であることは間違いはなさそうです。



今年も来年度に向けて奈良県に要望書を提出します。

奈良県知事
柿本 善也 殿

94年度にむけての要望書

奈良県生活協同組合連合会
会長 繁田 實造

謹啓、貴職におかれましては、日頃より、県民・消費者の生活と健康、福祉・文化向上のためにご尽力いただいておりますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

また、県生協連に対しましては、何かとご指導・ご協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。お陰様で奈良県の生協も地域に広がり、組合員は18.5万世帯を越え、県民世帯の41%に達するまでになりました。

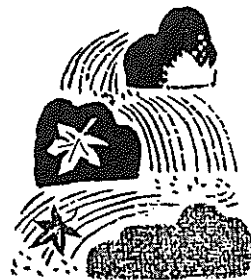
生活協同組合は、自主的な消費者の参加で自ら出資、運営に参加し、利用する組織として、組合員の学習・啓蒙、事業活動を続けて参りました。また、協同の精神を大切に、持てる力を出し合いながら、よりよい暮らしの創造に幅広い活動を発展させてきました。現在、県内には5つの生活協同組合（ならコープ、おやさと生協、労済生協、奈良女子大生協、奈良教育大生協）があり、それぞれの分野で組合員の自発的な活動が行われております。

このような私たち生活協同組合の地域での自主的活動は、現在、知事が推進しておられる「『遊』のある県づくり」にも、大いに貢献して行けるものと自負いたしております。また、私たち生協関係者は、今後の県政の発展にますます期待を致しますとともに、県民の生活向上に関しましては、出来るだけ協力させていただくこととしております。

つきましては、今後も生活協同組合の諸活動に対するご支援、ご協力を賜りますとともに、下記の事項につきまして、格段のご配慮を賜ります様、お願い申し上げます。

記

- 一、 県民の生活向上等に関して県の設置する審議会、懇談会などへ、生協連の代表を参加させていただきたいこと。
 - 1) 「県ごみ減量・資源化対策協議会」などの審議会に生協連の代表を参加させてください。
 - 2) 消費者問題関係の審議会、懇談会などへの生協連の代表を参加させてください。
- 一、 地域社会において生活文化の向上や福祉の増進を目的として実施している生協活動に対してご支援をお願いしたいこと。
- 一、 安心・安全・リサイクルを願う県民の期待に応えるために、現在、法制化が予定されている「製造物責任法」及び「環境基本法」の早期制定を国に要望していただきたいこと。
- 一、 厳しい経済環境のもとで、生協の事業・運営はたいへん厳しい状況にあることから、生協の健全な発展を支援するための諸施策を実施するとともに、国に対して必要な施策の実施を要望していただきたいこと。



サークル紹介

福祉サークル

ひまわりの会

浅野 美代子

私達のサークルは、奈良市総合福祉センターの隣にあります身体障害者福祉作業所へ月1回（第三火曜日）午前中2時間程度お手伝いに行っています。仕事の内容は簡単な内職的な手作業です。毎回10人程ですが、月1回の交流の場としておしゃべりもしながら楽しく参加されてるようです。私達は私達だけの場所で作業をしていますから障害者の方との特別なふれあいはありません。

作業所とかかわり始めてから6年になりますが何も進展も見られず今年もまた協同組合フェスティバルに参加するくらいです。

県連ニュースに福祉サークル紹介という事で原稿依頼があり、思いを書いてくださいとの事、今まで何の思いもなく何を書けばよいのか、これからのサークル活動の事については話し合った事ありません。とにかく行動を起こさなくては何も見えて来ないと思い、今年4月に青山の方にも作業所が出来て大勢の方が通所されていることを聞いていましたので、早速見学を申し込みました。

身体障害者通所授産施設、いずみ園、精神薄弱者施設（通所）、わかき園をたずねました。少し高台ですばらしい環境のもと、現代的な建物でこれが作業所かなとびっくりしました。運よく、大津理事長さんにお話を聞くことが出来感動致しました。

始められたきっかけは何ですかとお伺いす

ると「土地や財産があったら醜い争いの原因にもなりかねないし、短い人生を何かして精一杯生きられたら素晴らしい事と思い主人の遺志でもあったので老人ホームを作ろうと思っていました。ところが福祉作業所へボランティアとして通っているうちに障害者の方に目を向けるようになり、この子達が大きくなり親は先に亡くなると誰がこの子達の面倒を見ていけば良いのか、そんな思いから私財を投じて姫路の方に24時間体制で障害者を預かる施設を7年前に建て、現在50名程の人が入所されています。

奈良の地にもこのような施設を作りたいのですが、とりあえず通所の施設をと考えて、かかわってきました」と話を聞き、何と神様みたいな方だと感動しました。この場所に決まるまで6年の歳月がかかったそうです。候補地を選び、そこの住民に説明に行くと障害者という事で、きたない、くさい、病気がうつる、地価が下がると反対され、なさけな



万年筆替シンの箱詰作業中

くくやしい思いがしましたということ聞かされ、同じ人間であるのに何故それ程ひどい言葉が言えるのかと本当に情けなく考えさせられました。

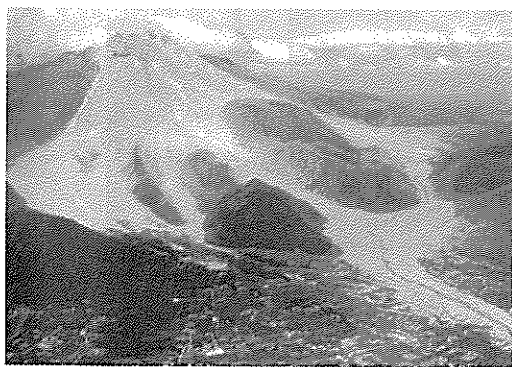
そこで私達に何か出来ることがありましたらとお尋ねしたのですが、今は不景気で内職の方もあまりなく、開園して日も浅く職員の体制ももう少し決まっていませんのでその内にボランティアの募集もしていきたいのですとおっしゃっていました。閉鎖的な園もある

中で、ここは一般の方との交流も考え、地域住民との交流も深めていき障害者に対する考えを理解してほしいのと言われ、なかなか個人ではかかわるのには勇気もいる事だと思えますので、お友達とでも一度見学されたら良いのではないかと思います。私達ももう少し深く障害者の方とのふれあいの場をみつけ、本当のボランティアとして活動できたらと思いを新たにしてみました。私も生協を通して良い経験をさせていただいている一人です。

雲仙・普賢岳の現状視察より（8月21日）

—潮風が涙ぐむ時—

大國 康夫



噴火後の普賢岳と深江町

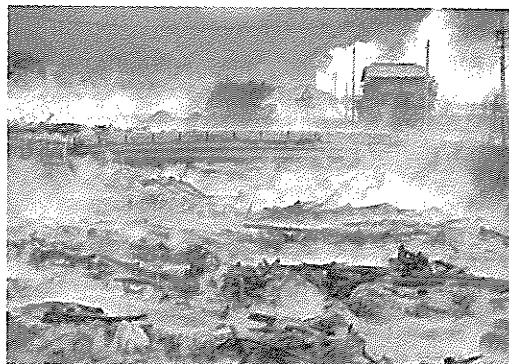
有明の海の潮が引き、シギのような鳥たちが一生懸命に餌を啄む。

「長く住み慣れた地で、安心して老後を通す」はずの人達であった。3年前、見上げる普賢岳が噴火して見下ろすならかな有明の海にまで大火砕流が至った。今も2,132人、503世帯が避難生活をしている。

火砕流、土石流は大きな茶色の瓦の二階建ての屋根の部分のみせて、大きな農家を埋め

尽くした。国道を高架にしたので、その下を土石流が流れる。噴火が終わっても、土地は作物の取れるような土地には戻らない。

困り果てている人達に容赦なく台風が襲ってくる。国が協力しないと、この土地に住み続けることは出来ない。人は信念とともに若く、希望のある限り若い。しかし、このままでは失意とともに、この地を追われる人を作ってしまうだろう。



水無川を埋めつくした大火砕流猛威の跡

電話料金を考える市民のつどい

9月8日(水)大阪府立消費生活センターに於いて、電話料金を考える市民集会有りました。参加者は約65名で開会挨拶の後、「でんわ問題 110番」で2日間取り組んだまとめの報告がありました。その後、「異説・やまとおろち」と題し、すさのおの尊が、大蛇を退治する「構成劇」がありました。「私の意見」では、ろうあ協会・高齢者運動連絡会・弁護士の方達より切実な訴えを聞きました。会場からも身近な発言があり、最後に「電話利用に求められた政治の革新」に触れ、アピールの提案で閉会しました。

(県連事務局・山口)

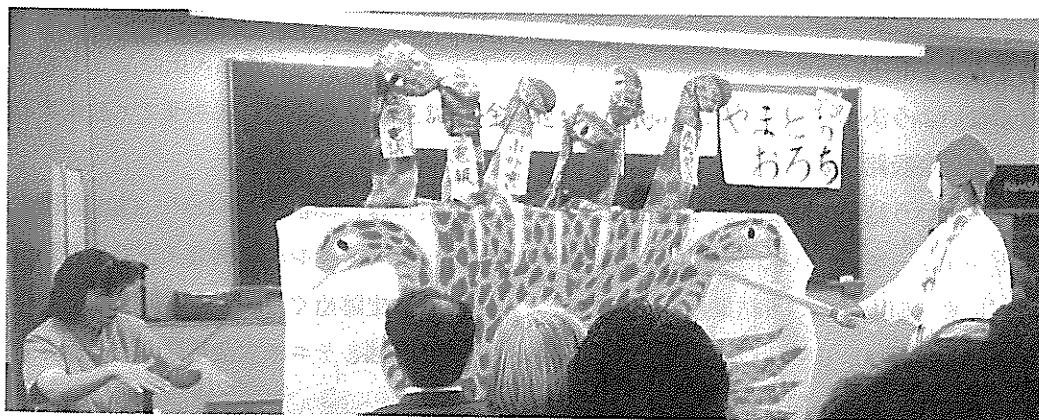


「第3回奈良環境シンポジウム」 開催される

「いま、環境問題は…」～生物の世界と人間の文明を支える「水」を考える～をテーマとした奈良環境シンポジウム(主催・奈良新聞社)が、去る9月4日奈良県新公会堂能楽ホールで開催されました。

天野礼子さん(アウトドアライター)、鈴木善次氏(大阪教育大学教授)、川上勇氏(財・地球環境センター-監事・大阪府出納長)の基調講演の後、上遠恵子さん(レイチェルカーソン日本協会代表理事)、阪奥明氏(大和郡山市市長)、中村幸昭氏(鳥羽水族館館長)、が加わったパネルディスカッションでは、教育面、生活・文化面、行政面でそれぞれ立場の異なった又実績を踏まえた観点からの論議が展開され、今や、環境問題を抜きにしての奈良の発展も人類社会の発展も有り得ないという認識の上に立ちながら、その原点は?それが「水」にあるのでは?と問題を投げかけました。

(県連事務局・桂)



奈良県生協連が取り組んだ構成劇

奈良教育大学生協

夏休みに入る直前に、総代会で論議になったドレッシングの保管方法についてアンケートを行い、①衛生上各テーブルから1ヶ所に移す、②営業終了後冷蔵庫に保管する、ことを決めて実行しています。

また、空かんのリサイクルについても、ならコープ・かつらぎ店の協力を得て、アルミ缶とスチール缶の分別回収を始めています。(今秋から本格展開の予定)

今年の夏は短い夏でしたが、共済セミナー・教職員セミナーなどに参加し、それぞれ秋以降の活動のイメージを膨らませています。また、秋の強化月間に向けた方針論議も9月の合宿での論議を予定しています。

(足田専務理事)

おやさと生協

この10月からお米が値上がりします。現在の米流通制度では自主流通米の場合、年に2回の入札が行われ価格が決定します。米の価格を安定させるためその上下幅は一定以上にならないよう決められています。前回の春の入札では高級銘柄の一部がわずかながら値を下げるといった結果でしたが、今回は気候不順などが手伝って、前代未聞の全銘柄あげ幅いっぱいまで値上げという結果になってしまいました。こしひかり・秋田小町などの有名銘柄米がますます手の届きにくい所に行ってしまうそうです。

(上田理事)

ならコープ

〈環境分野では〉7/15セキスイ(天理)の見学会、7/30には桜井市寺川で43名の参加で、親と子の環境ウォークラリーが雨の中、谷先生を迎えて行われました。

8/21には、第19回牛乳パック回収があり11.9t集まりました。

〈平和の分野では〉6/30～7/2平和行進がはじまり、8/4～6 17名の参加でヒロシマ行動が行われました。8/27には坂本君の報告集会在桜井市で行われました。

〈福祉・たすけあいの分野では〉7/2日赤看護講習会が行われました。7/26からは北海道南西沖地震救援募金が開始され、11,658,910円(8.21現在)のカンパが集まりました。

〈生活・文化活動の分野では〉7/10絵本入門講座 7/10たてばし、コープスクール、研修講座が行われました。8/26～27には、小学生を対象に、1泊2日でトントンゆかい村が企画されました。

9～10月にかけては、秋の班長会がはじまり、テーマは「伝えて、広めて、暮らし豊かに」となり、コープ商品・産直品を中心に行われています。同時にユニセフ・被爆者募金もスタートします。

10月には、お母さんセミナー・協同組合フェスティバル・ミレル例会会・子育て懇談会、歩く会、史跡めぐり、くらしの講座、ユニセフパネル展、テニス大会等数多く計画されています。

(組合員活動部 山本)

奈良県労働者共済生活協同組合

7月28日通常総代会を開催し、出席総代101名、委任総代19名の出席のもと、全議案とも原案通り承認を得、盛会のうちに無事終了致しました。

昨今の生協運動並びに労働者福祉活動を取りまく情勢は、ますます厳しさを増しておりますが、決定されました運動方針・事業計画の完遂を目指し、10月1日各種制度改訂を機に、秋季キャンペーンとして新聞折込み、宅配等の教宣活動を展開します。

この期間中には、本部実施のTVコマーシャルや新聞報告も連動し、成約者プレゼントを実施します。また、県本部においても窓口成約者に対して記念品の進呈を実施いたしますので、保障についてお考えの折は、ぜひこのキャンペーン時に窓口までお越し下さい。

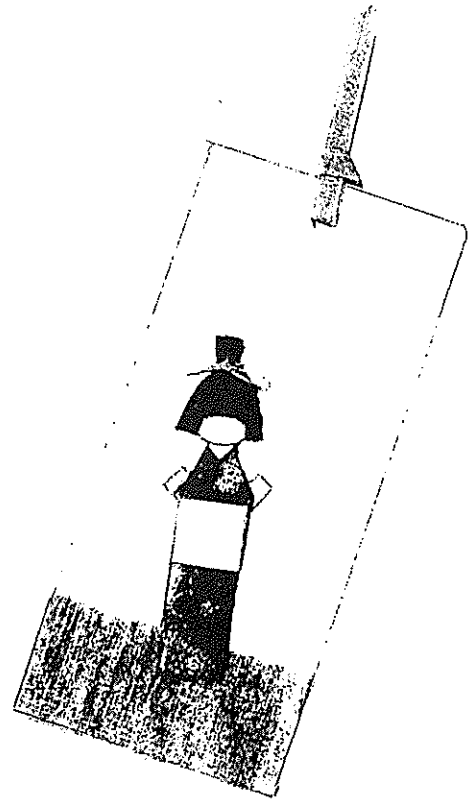
(武本事業推進二課課長)



お詫び

前回の生協連ニュースNo. 11のトーク・トークで奈良女子大学・城戸望さんの写真が本人と違っていました。深くお詫び致します。

ならアース基金協会



ならアース基金協会では、10名前後の運営世話人会を設け、原則として月1回定例会議を開いています。

今は、第6回協同組合フェスティバル(10/24)に向けて牛乳パックでしおり作りをしています。

3つ200円で買っていただき、アース基金として役立てたいと考えています。

県連日誌



—お知らせ—

7/16関西地連第1回府県連協議会(事務局長)
7/21関消懇・関西、大阪ガス交渉(事務局長)

8/23協同組合連絡協議会事務局会議

9/4奈良環境シンポジウム

9/8電話料金を考える市民の集い

9/16第2回理事会

9/27~28やまとむらづくり塾研修会(専務)

10/1~2生協法施行記念集会

10/9 関消懇 学習会

10/24第6回協同組合フェスティバル

家族そろって

第6回協同組合フェスティバル

日時 10月24日(日) 10:00~15:00

会場 奈良県競輪場駐車場

(近鉄平城駅下車 徒歩5分)

入場無料

三之公原生林の探索とシンポジウム

日時 10月23日(土)~24日(日)

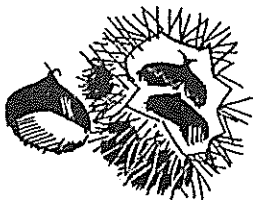
場所 川上村自然の家・三之公川付近

費用 8000円(宿泊・交通費等を含む)

申し込み・奈良県勤労山岳連盟

07435-3-4947(夜間のみ)

・前 圭一 0742-46-8409



ユニセフ10年目

記念講演会&ユニセフパネル展

日時 11月12日(金) 10:00~12:00

場所 奈良県新公会堂

講演 オスマン・サンコン氏

パネル展

ユニセフパネル展示室 10:00~15:00

定員 500名(先着順)

申し込み・組合員活動部 0742-34-8735

—お—